

■コメント

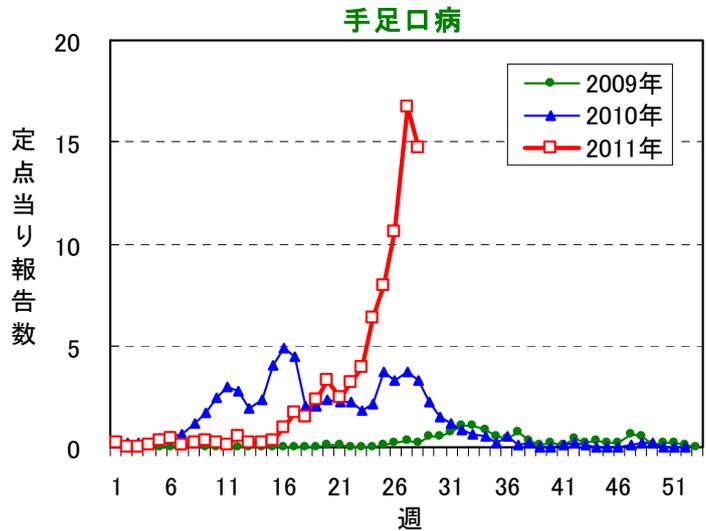
1. 手足口病

定点当たり14.7人とやや減少しましたが、依然多い状態が続いています。手足口病は、幼児を中心に、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患で、今年2005年の夏以来の大きな流行となっており、注意が必要です。

2. ヘルパンギーナ

定点当たり2.75人と多い状態が続いています。ヘルパンギーナは、幼児を中心に、毎年6月から8月の夏季を中心に流行するウイルス性の疾患で、発熱と口の中に水疱ができることが特徴です。

手足口病、ヘルパンギーナの予防方法としては、手洗い・うがいの励行が大切です。この疾患は、回復して症状がなくなっても、便などにウイルスが排泄されることがあるので、排泄物の適正な処理に心がけましょう。



■定点把握感染症状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 (注 5年 間)	発 生 記 号	疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 (注 5年 間)	発 生 記 号
インフルエンザ	-	-	0.02		ヘルパンギーナ	66	2.75	3.30	⇒
咽頭結膜熱	10	0.42	0.53		流行性耳下腺炎	10	0.42	0.85	⇩
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	18	0.75	1.37	⇩	RSウイルス 感染症	1	0.04	0.04	
感染性胃腸炎	87	3.63	3.88	⇒	急性出血性 結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	14	0.58	1.02	⇒	流行性角結膜炎	2	0.25	1.05	
手足口病	353	14.71	1.39	⇩	細菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	37	1.54	0.58	⇩	無菌性髄膜炎	-	-	0.40	
突発性発しん	14	0.58	0.82		マイコプラズマ 肺炎	3	0.43	0.29	
百日咳	1	0.04	0.09		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	5	144	男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	3	男性(60歳代)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第24週 第25週 第26週 第27週 第28週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
			-	7	36	98	28	152	24	11	8	29	13	-	-	4	-	-	2	-
定点当り	広島市	第24週	-	0.29	1.50	4.08	1.17	6.33	1.00	0.46	0.33	1.21	0.54	-	-	0.50	-	-	0.29	-
		第25週	-	0.46	1.04	3.42	0.63	7.96	1.38	0.46	0.25	1.50	0.50	-	0.13	1.00	-	0.14	0.71	-
		第26週	-	0.29	1.08	3.50	1.17	10.58	0.50	0.58	0.17	2.13	0.50	-	-	0.63	0.14	-	1.14	-
		第27週	-	0.29	0.92	3.88	0.63	16.67	1.29	0.54	0.04	2.58	0.63	-	-	0.38	-	-	1.57	-
		第28週	-	0.42	0.75	3.63	0.58	14.71	1.54	0.58	0.04	2.75	0.42	0.04	0.13	0.25	0.14	-	0.43	-
	全国	第26週	0.10	0.78	1.74	3.79	1.85	7.19	1.04	0.70	0.03	2.23	0.94	0.10	0.36	0.83	0.03	0.03	0.61	0.02
		第27週	0.06	0.78	1.40	3.43	1.27	9.72	0.94	0.73	0.03	3.41	1.15	0.13	0.76	0.75	0.03	0.05	0.65	0.02

## ■STD(性感染症)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

報告数	広島市	5月 6月	STD(性感染症) 定点												基幹定点														
			性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症					
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			
定点当り	広島市	5月	2.89	2.44	0.44	0.67	0.56	0.11	0.33	0.22	0.11	1.67	1.67	0.00	6.14	3.86	2.29	0.43	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6月	3.00	2.67	0.33	0.33	0.00	0.33	0.11	0.11	0.00	1.78	1.56	0.22	6.00	3.14	2.86	0.43	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	
全国	6月	2.45	1.14	1.31	0.72	0.26	0.45	0.47	0.27	0.20	0.85	0.65	0.19	4.28	2.69	1.59	0.97	0.54	0.43	0.00	0.00	0.00	0.07	0.05	0.02				

定点数 STD定点 9 基幹定点 7

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
川崎病	発熱(39.2) 上気道炎 下痢 結膜炎	1	男	2011/04/04	咽頭拭い液	アデノウイルス31型
川崎病	発熱(38.2) 発疹 紅斑 結膜充血 リンパ節腫脹 口唇発赤 イチゴ舌	3	女	2011/06/09	咽頭拭い液	ヒヘルペスウイルス6型
その他の疾患	発熱(41.3) 意識障害 熱性痙攣	1	男	2011/05/10	糞便	アデノウイルス2型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第28週(7月11日~7月17日)